

こんにちは
日本共産党です

暮らしがこんなにたいへんなのに

国保料また値上げ!

「百年に一度の経済危機」で、暮らしと雇用・営業が深刻な中、流山市は3月議会に国民健康保険料の値上げ案を提出。日本共産党以外の議員が賛成し、決定しました。

**一人一律3000円
低所得者子どもが多い
家庭ほど重い負担に**

ただでさえ暮らしがたいへんな時に、追い打ちをかける国保料の値上げです。所得に係なく、一人3000円。4人家族で1万2千円の値上げは、低所得者ほど負担が重い「弱い者いじめ」です。所得に応じて保険料を値上げした3年前の方針の大転換であり、

二重に許せません。今でも保険料が払えず保険証を取り上げられている世帯の98%が、年収200万円以下。値上げはこの人たちの負担をさらに増やし、ますます滞納者が増やすことに。一方で、議員など最高限度額の人

の負担は増えません。流山市は「医療費が

増えて国保会計が赤字だから」と言いますが、保険料が払えないために保険証が取り上げられ、病院に行かれない人が重症化すれば、医療費はもつと膨らみます。また、払えない人が増えれば、国保会計はさらに悪化するという悪循環です。

国保は社会保障制度であり、国と自治体が責任を持たなくてはなりません。国の財政負担を増やすこと。流山市も一般会計からの繰り入れを増やすこと。こうすれば、市民に値上げを押し付けなくてもすむのです。

**やむを得ないと賛成
言い訳に『附帯決議』**

自・公・民

値上げ案が提案された3月議会では、各議員の態度が問われました。

賛成した議員は「市民の負担が増えるが、国保の安定運営のため

ヘルスアップ事業の強化や子どもの医療費助成の拡充を要求しながら、国や市の責任をまったく不問にしています。これでは国保の根本問題を解決できません。附帯決議を賛成の言い訳にするとは、負担増に苦しんでいる市民の痛みを感じないのでしょ

**開発に50億円使うより
安心できる国保へ**

深刻な経済危機だといふのに、3月議会で審議された来年度予算では、T沿線巨大開発に来年度も50億円もの税金をつぎ込もうとしています。予算の主役を開発優先して医療にかかれる国保制度に変えましょう。



**滞納者でも医療を受けたい人には
相談にのつたうえで短期保険証を発行**
流山市では昨年12月から、滞納世帯であっても中学生以下の子どもには正規の保険証を発行していませんが、3月議会でもわが党の質問に、国会での政府答弁書で示された「医療を受ける必要性や医療費の一時支払いが困難な場合、窓口申し出れば子ども以外でも短期保険証を発行できる」という考え方に沿って対応すると答弁しました。

日本共産党流山市議団
高野 と も 7155-1683
いぬい 紳 一 郎 7159-2773
小田 桐 一 郎 7154-0878
徳 増 記 代 子 7148-6871
市議団事務所
TEL/FAX 7157-6140